

報道関係者各位

2021年5月19日
Shopify Japan 株式会社

KanFA×Shopify

アパレル・ファッション事業者に向けた ECサイト開設の無料オンラインセミナーを開催



世界175カ国で170万以上のネットショップが日々運営されているマルチチャネルコマースプラットフォームShopify（ショッピファイ）の日本法人Shopify Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、地域統括マネージングディレクター：ショーン・ブロートン 以下：Shopify）は、この度協同組合関西ファッション連合（以下：KanFA）主催の、2021年5月24日（月）に実施される、ECの最前線の情報提供とShopifyの活用方法を軸とした無料オンラインセミナー「今何が起こり、これからどう変わっていくのか」に登壇します。

新型コロナウイルスの影響により、消費者の購買行動も変わり、オンライン上で買い物をする人が急激に増加しました。一方で、特に小売業界の実店舗では売上が大幅に減少し、中でもアパレル・ファッション業界において店舗のオンライン化が求められています。

本セミナーでは、店舗のオンライン化を希望する事業者向けに、ECサイトの構築サービス「Shopify」についてご紹介する他、ShopifyとSNSを活用し、売り上げを400%成長させたShopify認定教育パートナーの三浦 卓也氏に成功の秘訣をお話いただきます。

【オンラインセミナー概要】

主催 : 協同組合関西ファッション連合
テーマ : EC最前線「今何が起こり、これからどう変わっていくのか」
会場 : ライブ配信または、オンデマンド配信
参加費 : 無料

〈ライブ配信〉

開催日時 : 5月24日（月曜日）14:00 - 15:30
定員 : 先着100名（定員に達した場合はご連絡いたします）

〈オンデマンド配信〉

開催日時 : 5月25日（火曜日） - 5月31日（月曜日）
定員 : 先着100名（定員に達した場合はご連絡いたします）

〈こういう方におすすめ〉

- 実店舗を持っていてECサイトをはじめたい方
- ECサイトの成果をアップしたい方

- モール型と自社ECの違いについて知りたい方

当日のスケジュール	コンテンツ
14:00 -14:40	<ul style="list-style-type: none">・ ECについて（マーケットプレイス・自社ECの違い・コロナの影響）・ Shopifyについて（会社概要・機能・事例）・ 関西コミュニティの紹介 <p>石田 浩平 氏</p>
14:40 -15:20	<ul style="list-style-type: none">・ 自社サイトの紹介と運営方法・ Shopifyのメリット・活用方法・ おすすめ機能やアプリの紹介 <p>ミウラタクヤ商店 三浦 卓也 氏</p>
15:20 -15:30	質疑応答

【申込方法】

(1) メールでの申込み

下記のメールアドレスに必要事項をご記入の上、送信ください。

Email : shimizu@kanfa720.com (担当：清水)

必要事項 : ①会社名、②電話番号、③参加者名、④部署・役職、
⑤視聴方法（ライブまたはオンデマンド）

(2) FAXでの申込み

下記の番号に申込書をご記入の上、送信ください。 ([申込書ダウンロード](#))

FAX : 06-6228-6540

【セミナーについての問い合わせ先】

協同組合関西ファッション連合 (担当：清水)

TEL : 06-6228-6525

FAX : 06-6228-6540

Email : shimizu@kanfa720.com

詳細チラシ : 詳細はこちら(<https://www.kanfa720.com/news/2021/05/ec-shopify.html>)

<Shopifyについて>

Shopify (ショップファイ) は、国内に限らず海外へのオンライン販売も、専門知識がない中で手軽に始められる、クラウド基盤のマルチチャネルコマースプラットフォームです。ウェブ、モバイル、ソーシャルメディア、マーケットプレイス、実店舗などの複数の販売チャネルを持つオンラインストアの作成、カスタマイズ、在庫連携、売上管理を簡単に行うことができます。プラットフォームには、ストアの経営者にとって強力なバックオフィス機能も備えら

れており、オンライン販売に必要なものすべてはShopifyで一元管理ができる、という手軽さが大きな特徴です。

2006年にカナダで設立されて以来、Shopify は小規模から中小企業、大手企業など、現在まで約175カ国で170万 以上のオンラインストアをサポートしており、国内ではBASE FOOD（ベースフード）、Tabio（タビオ）、Go Go Curry（ゴーゴーカレー）、海外ではAllbirds（オールバーズ）、Heinz（ハインツ）、Staples（ステープルズ）、などの大手有名企業から世界的な著名人まで国内外において、多くのブランドより利用されています。